

A collage of 18 photographs showcasing various scenic spots and activities in Hiroshima, Japan. The images include: a family in a field of yellow flowers; a coastal town with a bay; a family walking on a path; a large rock formation on a beach; a person on a ramp; a view of a bay with a bridge; a Ferris wheel; a family playing in a park; a view of a bay with a bridge; a woman playing a trumpet in front of a ship; a close-up of white flowers; a building with a sign; a rocky coastline; a street view; and a lighthouse.

出産子育て応援祝い金 の支給

151,450千円

横須賀市で子どもを産み、育てようとする世代を応援するため、市独自で「出産子育て応援祝い金」10万円を支給します。国の妊婦支援給付金とあわせて、妊婦一人あたり20万円を支給します。

支給額（出産子育て応援祝い金）

- 1回目 妊婦一人あたり5万円
- 2回目 妊娠している子ども一人あたり5万円



詳細：横須賀市HP

5 歳児健診の実施

新規

1,674千円

言語能力や社会性が高まり、発達障害が認知される時期である 5 歳児を対象に健康診査を行い、子どもの特性に合わせた適切な支援を行います。

実施方法

- 対象の幼児のいる家庭全戸へアンケートを送付
- アンケートの回答内容により、健診対象者を抽出し、医師の診察および保健師・臨床心理士・管理栄養士などの相談を実施



医療的ケア児の 受入れ体制の強化

拡充

539,575千円

様々な子育てニーズに対応した保育サービスをより充実させるため、令和8年4月に開園する横須賀市立南こども園においても、医療的ケアが必要な児童の受入れを実施します。



令和8年度から受入れ可能な園

2か所 ▶ 3か所

現在受入れ可能な園（公立）

- 中央こども園
- 鴨居保育園

※今後開園する（仮称）北こども園、（仮称）西こども園においても受入れ体制を整えます。



詳細：横須賀市HP

病児・病後児 保育センターの拡充

拡充

54,209千円

子どもが病気・病気回復期にあり、集団保育が困難な時期に一時的に子どもを預けられる施設を増やします。

施設数の拡充

2 か所 ▶ 3 か所



すでに開所している施設

- 総合医療センター（病児・病後児保育センター）
- 中央こども園（病児・病後児保育センター）



詳細：横須賀市HP

小学校の夏休み期間の 一時預かり

拡充

4,671千円

夏休み期間中、仕事などで日中の預け先を必要とする家庭が増えることから、留守家庭児童を対象とした一時預かりの実施場所を1か所から3か所に拡充します。

拡充予定場所

追浜地区・久里浜地区

令和7年度実施内容

- 開所場所：横須賀市青少年会館
- 開設時間：8時～18時
- 料金：700円/日



詳細：横須賀市HP

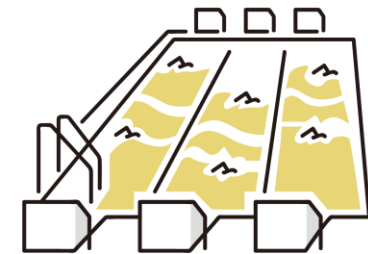
市施設の 子ども料金無料化

新規
20,023千円

子どもの居場所や体験の機会を広げるため、主にスポーツ施設を中心とした市施設について、市内の子ども（中学生以下）の使用料を無料とします。子どもたちが小さい頃からスポーツに親しみ、健やかに成長できる環境を整えます。

対象施設

- 温水プール
- アーチェリー・エアライフル場
- 公園水泳プール
- 相撲場
- 不入斗陸上競技場
- 猿島（入園料）
- トレーニング室
- しょうぶ園
- 弓道場



詳細：横須賀市HP

全天候型遊び場など 複合施設の整備の検討

新規

22,000千円

児童図書館、室内の子どもの遊び場、若者が気軽に集える空間などの複合施設の民官連携による整備に向けて、検討を進めます。



令和8年度の主な取り組み

- 事業者へのサウンディング調査

事業採算を含めた実現可能性についてヒアリングを行います。

- 事業者公募資料の作成

ヒアリング結果を踏まえて、法令、制度などの要件を整理し、公募要項の作成を検討

- 土地利活用アクションプランの策定

誰も一人にさせない 学校づくり

新規・拡充
135,689千円

不登校支援と支援教育を統合的に進め、すべての児童生徒が「自身の個性やよさなどを大事にしながら、自分らしい学び方・生き方ができる」環境を実現します。



主な施策

- 教室に入ることが難しい児童生徒のための居場所や一人ひとりに応じた学びや支援を行うサポートルームの開設
- 不登校対策の適正化を図るための対策推進室を設置し、専門員を配置
- 合理的配慮・基礎的環境整備のガイドラインを作成
- 支援につなげる個別指導計画作成ツールの導入（市立中学校）

安全安心で魅力ある 教育環境づくり

新規・拡充
3,249,428千円

うち令和7年度補正予算：1,102,000千円

全ての児童・生徒が安全安心で快適に過ごせる
ように、市立学校の教育環境整備を進めます。

主な施策

- 市立学校に通学する児童生徒に対する給食費の支援
小学生：市給食費と国助成額の差額を市が負担し無償化
中学生：物価高騰による給食費値上げ分を市が負担
- 遠距離通学となる児童生徒の定期券代を全額助成
- 市立学校体育館への空調整備（令和8年度整備予定19校、令和9年度整備予定17校）
- 市立小・中学校トイレの洋式化（164基）
- 各学校で作成している防災・防犯マニュアルの見直し



家庭や地域と連携した 支援体制の強化

拡充

30,883千円

学校、家庭、地域の連携を深め、児童生徒一人ひとりの学びや成長を支える環境を整備し、効果的な支援体制を強化します。

主な施策

- 学校と地域をつなぐ地域学校協働活動推進員
（コーディネーター）の委嘱
- 部活動の地域展開に向けた取り組み（外部指導員の配置など）



結婚新生活への支援

拡充
112,177千円

新婚世帯などの新生活を応援する
住宅・引越しなどの費用の助成について
対象年齢を「県内初」40歳代まで広げます。

拡充内容

- 49歳以下の新婚世帯に最大20万円助成

継続実施内容

- 29歳以下世帯へ最大60万円助成
- 39歳以下世帯へ最大30万円助成
- パートナーシップ宣誓者も対象



詳細：横須賀市HP

｜その他の事業

● 産後ケアの拡充 ｜ 48,435千円

産後ケアをより利用しやすくするため、手続きがスマートフォンなどでいつでも簡単にできる予約システムの実証実験を引き続き行います。

● 放課後子ども教室の開所時間延長 ｜ 148,561千円

放課後子ども教室は小学生が安心して、遊び交流できる居場所です。10月～3月までの開所時間を30分延長（16時30分まで）します。

● 民設放課後児童クラブの新規開所 ｜ 1,236,429千円

放課後児童クラブが不足している小学校区（浦郷・鷹取・鶴久保・浦賀）に令和8年4月から新たに民設クラブを開所します。

● 子育て・子育ての魅力発信 ｜ 5,504千円

有識者をアンバサダーに迎え、魅力ある子育て・子育てのイベントや支援を実施し、積極的に情報発信していきます。

● 一時預かり事業所の保育士などの処遇改善 ｜ 1,192千円

待機児童を受け入れる一時預かり事業所の保育士などに対し、公定価格と同等の処遇改善を行うことで労働環境を整え、保育の質を確保します。

町内会・自治会の デジタル化推進

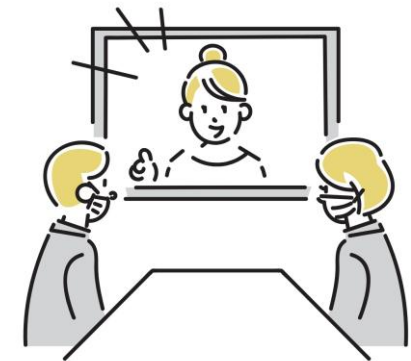
拡充

11,400千円

町内会・自治会の負担軽減と会員の加入促進につなげるため、デジタル化を支援します。

- パソコン購入費などの助成

デジタル化に必要な機器購入や環境整備に要する経費について
1団体当たり最大10万円を助成します。



- 横須賀市連合町内会公式HPの開設など

町内会・自治会加入のメリットや活動を紹介する公式ホームページを開設します。

あわせて、市からの送付物をデータで受け取れるシステムを構築します。

ヘルスケアデータを 活用した健康支援

拡充
17,351千円

市民の健康データをビッグデータ解析することで、健康リスクが高い方を抽出し、支援します。
また、その支援対象を40歳以上の国民健康保険加入者に加えて75歳以上の後期高齢者医療制度加入者の方にも広げます。

主な施策

- 新たな抽出方法により、今までは支援が届かなかった方にアプローチします。
- 糖尿病の重症化リスクが高い方に、保健師や管理栄養士が生活習慣の改善をサポートします。
- 要介護になるリスクが高い方に、フレイル予防や認知症予防の重要性を伝え、介護予防教室への参加を促します。



事業のイメージ図



詳細：横須賀市HP

親なき後の将来に向けた 障害者施策の充実

新規・拡充
43,071千円

障害のある人が家庭や生活の状況が変化しても、
安心して地域で暮らすことができる環境を整備します。

主な施策

- 医療的ケアの必要な人や行動障害のある人を受け入れるグループホームを増やします。
- 医療的ケアの必要な人の移動支援を充実させるとともに、自力での通所を訓練するための移動支援を開始します。
- 通所事業所による送迎を促進するため、送迎に係る費用の助成を拡充します。
- 障害福祉関係者と連携して、緊急時などのセーフティネットとなる「地域生活支援拠点」を整備します。
- 障害福祉サービス事業所などに職員の研修費用を新たに助成します。



詳細：横須賀市HP

障害のある人が安心して暮らせる支援体制の充実

新規・拡充
9,307千円

障害のある人が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、日常生活や就労支援、医療、コミュニケーション環境の充実を図ります。

主な施策

- 夏季の訪問入浴サービスを月4回（一部の利用者は月6回）から月8回に増やします。
- 企業や自営などで働く重度の障害のある人に対して、職場などにおける介助や通勤の支援を新たに実施します。
- 障害者歯科診療所において全身麻酔などによる治療が行える体制を整備します。
- 通訳オペレーターを介して、手話で市役所に電話ができるサービス（手話リンク）を新たに導入します。



詳細：横須賀市HP

生成AIを活用した 福祉の先進取り組み

新規

9,350千円

24時間365日いつでも対応できる生成AIの特徴を生かし、人による相談とあわせて、より充実した福祉の相談体制を構築します。

- 福祉相談サービス

専門家監修のAIによる傾聴と職員による有人支援を組み合わせた、ハイブリッド型相談窓口の構築を目指します。

- 認知症予防会話サービス

AIと音声で会話することが脳の健康に役立つ可能性があるため、企業や研究機関と連携し効果の検証や普及活動を行っていきます。



詳細：横須賀市HP

介護人材確保に向けた 支援の拡充

新規
29,209千円

介護サービスを必要な時に十分に提供できる体制を整えるため、介護人材の確保に向けた支援を拡充します。

- ケアマネ資格更新研修費の助成

費用によりケアマネの資格更新をためることがないように、法定研修費用の自己負担額の全額を助成します。

- 訪問ヘルパー事業所への助成

訪問ヘルパー事業所が継続してサービスを提供できるように、採用活動や人材定着の研修、経営改善につながる協働化などにかかる費用を助成します。



民生委員児童委員の 活動支援

拡充
75,487千円

日頃から地域のために様々な活動にご尽力いただいている「民生委員児童委員」の負担軽減のため、会議参加や訪問活動に伴う交通費・通信費などに使用する活動費を増額します。

今までの活動費
9,000円/月



増額後の活動費
10,000円/月



まちなか元気プログラム によるフレイル予防

新規

974千円

町内会館などの身近な場所で、気軽に運動や交流ができるよう、動画配信システムを活用したフレイル予防活動に取り組みます。

主な内容

- 対象者：65歳以上の方
- 場 所：町内会館など身近な集まりやすい場所
- 形 式：市民主体でスマートフォンなどを使い、動画を見ながら体操や脳トレを実施
- 特 徴：無理なく気軽に健康づくりが可能
交流拠点での開催により、多世代の交流につながる



｜その他の事業

● 子ども・若者の自殺対策の推進 ｜ 460千円

自殺対策推進協議会の中に、子ども・若者に特化した情報の共有や、必要な対処および支援などの措置に関して検討する場を設置し、専門家・学校関係者とともに、相談・支援の体制の充実を図ります。

● 社会福祉推進委員活動費の補助 ｜ 9,300千円

民生委員の活動に協力する社会福祉推進委員を支援するため、市社会福祉協議会から支給される活動費を補助し、一人あたり月額450円から月額500円に増額します。

● 犯罪被害者などへの日常生活支援の充実 ｜ 4,145千円

犯罪被害者などに寄り添い、見舞金や助成金の支給、法律相談などの支援を行い、日常生活を取り戻してもらうことを目指します。

● 地域の安全安心の支援 ｜ 15,893千円

市民協働による横須賀パトロールランウォークの実施や、迷惑電話防止機能付き電話機の購入費補助など、犯罪抑制のための施策を展開し、安心して暮らせるまちづくりを推進します。

中小企業の人材確保と 多様な求職者への支援

新規・拡充
25,000千円

市内企業の人材確保につながる働きやすい
職場づくりや採用力向上を支援します。
また、就職氷河期世代を含む多様な方々の
キャリアアップを応援します。



主な施策

- 建設業の熱中症対策費用の助成
- 企業の課題に合わせた多様なセミナー（採用活動強化・DX）による人材不足対応力強化支援
- 採用活動強化に向けたホームページ・動画作成費用の助成
- 高度ITスキル取得のための講習受講費に対する助成（個人向け）

災害用物資の 備蓄量アップ

拡充
118,142千円

災害に備えた防災備蓄基地の整備を進め、災害用物資を増備します。

災害時に物資を避難所へ配送後は、応援物資の受入れ・配送拠点として活用します。

災害用物資の備蓄量

避難者一人当たり1日分から3日分へ増やします

主な備蓄品の内容

- アルファ化米
- 液体ミルク
- ビスケット、パン
- 毛布
- 乳幼児、大人用おむつ
- 保存水
- 携帯トイレ
- 生理用品



参考：防災備蓄基地のイメージ

体育館（避難所）への 空調設備の整備

拡充
2,187,400千円

うち令和7年度補正予算：1,102,000千円

運動時や教育活動における熱中症・体調不良を防ぐとともに、避難所として使用する際の避難者の心身の健康を守るため、北体育会館および学校体育館に空調設備を整備します。



設置スケジュール

- 令和8年度整備予定：市立学校19校
- 令和9年度整備予定：市立学校17校、北体育会館
- 令和10年度整備予定：市立学校17校
- 令和11年度整備予定：市立学校18校

備蓄物資管理の効率化

新規

1,785千円

防災備蓄基地や震災時避難所に備蓄している物資の管理を業務委託し、平時から災害時まで、システム上で効率的に確実に管理できる体制を整備します。

主な効果

- 平時：備蓄物資の棚卸しなど、日常管理の効率化
- 災害時：備蓄物資の払い出し、残数管理の効率化
- 災害時：支援物資の受入れ・仕分け・配送の効率化



参考：備蓄物資のイメージ

三浦半島4市1町連携 のさらなる推進

市長室 危機管理課
経営企画部 企画調整課
都市戦略課
環境部 広域処理センター
港湾部 港湾企画課
港湾管理課
教育委員会 学校食育課

三浦半島4市1町の共通課題解決に向け、
広域連携をさらに進めます。

- 三浦半島首長連合会議（MU）の開催
- 災害対策の推進
 - ・ 地震被害想定調査結果を踏まえた相互支援策の検討
 - ・ 防災力強化に向けたデジタル技術の活用（NTT東日本と連携）
 - ・ 防災キッチンカーの運用（日本テレビと連携）
 - ・ 海路による物資輸送の円滑化など支援体制の強化
- 地球温暖化対策の推進
 - ・ 太陽光パネルなど設備導入費用の一部補助
- 公共施設の共同利用の検討
 - ・ ごみ処理施設、学校給食センターなど

その他重点施策



NTT東日本×三浦半島4市1町
防災広域連携協定の締結